



公開工作室利用者の声 針穴活動写真機

著者	太智花 美咲
雑誌名	工作ニュース
号	8
ページ	11-11
発行年	2016-03
URL	http://hdl.handle.net/2241/00139702

針穴活動写真機

芸術専門学群クラフト領域 4年 太智花 美咲

多孔式ピンホールカメラで撮影した多重露光写真を、フェナキストスコープを用いたアニメーションとして動かすための装置を自身の卒業制作作品として制作した。ハンドルを回すことで円盤が回転し、黒い円盤のスリットから写真が印刷された円盤を覗くと、アニメーションが現れるという仕組みである。装置の真ん中には多孔式ピンホールカメラが収納できるようになっている。この作品では、アナログ表現による光と時間の新しい表現を目指した。

素材について

制作の際、ピンホールカメラとアニメーション装置は、木製のクラシックカメラ等に多用された木と真鍮の組み合わせを参考にした。木も真鍮(黄銅)も、経年変化により深い色合いと風情が生まれる材な

ので、道具としても作品としても、時間が経つほどに美しくなることを目標にした。

公開工作室で製作した部品について

今回この「針穴活動写真機」を製作するにあたって、装置に必要な金属部品を、公開工作室にある工作機械を使用して製作した。製作した金属部品は支柱、シャフト、ハンドルパーツ、フランジで、材料は快削黄銅を使用した。工作機械で部品を作る上で、図面の作成を一から学べたので、とてもいい経験になった。図面を描くということは、自分が作りたい物の形を改めて見直すこともできるので、ものづくりをする上でとても大切な作業であると実感した。ぜひ、普段作れないものを作りたい！と考えている、多くの学生の皆さんに公開工作室を利用してもらいたいと思います。



図1 針穴活動写真機（斜め横から）



図2 針穴活動写真機（正面）



図3 多孔式ピンホールカメラで撮影した写真